

看護学雑誌 第52巻 総目次

1988年1—12月

(表示は、題名：筆者名、号数、開始ページ数)

特集

先輩に聞く——看護の「こころ」と「わざ」

永遠の旅立ちを見送り続けて——聖母病院教育婦長・寺本松野さん：新鞍真理子，1，27.

“自然流”訪問看護で地域に深く根をおろす——青森県南郷村訪問看護婦・山崎トシさん：松沼瑠美子，1，35.

生活の場で老人を見守る確かな目——特別養護老人ホーム「朝霧の園」園長・阿部初枝さん：工藤禎子，1，43.

公衆衛生看護の草分け——聖路加看護大学各營教授・前田アヤさん：石井享子，1，51.

「おいしく」食べよう——食事の見直しと看護の役割

快適な食事の演出——看護とのかかわりを考えながら：中村丁次・川島由起子・岡部和彦，2，131.

複数献立実践と病院給食をめぐる最近の話題：寺田一郎，2，136.

入院児の食卓を豊かに——幸福を生む“野菜デイ”と“ランチデイ”：高橋美哉子・谷端千代美・岡村絹子，2，143.

病院食3悪追放——看護婦と病棟専任栄養士の協力：細谷真由美・松田由美・塩沢洋子・森田敦子・中尾敦子，2，147.

治療に役立ち、喜ばれる食事づくりを——行事食に取り組んで：岡田育代・会田育子，2，154.

食事は患者さん唯一の主張の場：中島裕子，2，160.

医食同源を目指して——食養レストラン「れいじむ」の開設：大島重壽・岩本隆平，2，163.

よりよい看護研究のために

ナースはなぜ書くのか——実践につながる看護研究を：桑野タイ子，3，235.

看護記録を研究にどう生かすか：内藤俊之，3，240.

看護研究体験記：土蔵愛子，3，247.

看護研究としてのケース・スタディ：井部俊子，3，252.

もっと生活の視点を

生き甲斐のある高齢期を求めて——デンマークからの報告：トーベン・ニールセン，4，339.

ハンディを持つ人の道具を作り続けて——工業デザイナーの目で見た障害者福祉の現場：光野有次，4，352.

なぜ生活ケアにこだわるか——“生活復帰”としてのリハビリテーション：三好春樹，4，359.

美しいナースであるために

ユニフォーム——白衣の神話からファッションパフォーマンスへ：土生都寛子，5，443.

健康と美は足下から——ナースシューズについて：鈴木精，5，449.

下着は美のファウンデーション：田口秀子，5，455.

美しくあるための食生活について：阿部達夫，5，463.

美しくないたばこの話——ナースの喫煙を考える：森亨，5，470.

みんな美しいナースになろう！——新人へのメッセージ，プロフェッショナルとしての自分こそ美しい：立崎洋子，5，477.

みんな美しいナースになろう！——新人へのメッセージ，私の思う美しい看護婦：小西恵子，5，478.

みんな美しいナースになろう！——新人へのメッセージ，目標を持ち、熱中しよう：小松寛志，5，480.

患者が守る？患者を守る！——患者に対する病院規則と看護の役割

病院規則とその運用における看護のかかわり：小島通代，6，547.

病院規則と実際の運用における問題点：鈴木恵子・奥原由美・大水美名子・矢吹征子，6，553.

看護は規則を越え得るか：牧子智恵子，6，558.

精神科病棟における病棟規則の見直しと改善の試み：井之頭病院看護課，6，562.

セルフケア病棟における病院規則と看護の役割：賀川康子，6，569.

入院案内作成を通してみた病院規則の振り返り：寺島敏子，6，576.

医療過誤・看護事故から学ぶ

再び看護の安全性を問う：川島みどり，7，651.

院内での医療事故防止の取り組み——神奈川県立厚木病院医療事故防止委員会の活動から：岡部純子，7，

656.

判例からみた看護婦の役割と法的責任：菅野耕毅，7，661.

医療被害の背後にあるもの：加藤良夫，7，669.

被告席で看護を問われた私——ある看護婦の述懐：田中恵，7，674.

娘からの宿題——医療過誤で娘を失った母親の立場から：長尾クニ子，7，678.

外来にも看護はある！

外来の看護を見直す——救急の視点から：青木孝子，8，755.

外来での慢性疾患患者の看護——事例を通して：高口百登美・星野素子・中西友子，8，760.

診療所の外来における看護の役割を考える：佐藤静香，8，764.

外来での電話相談対応の手引き：松下和子，8，769.

[鼎談]外来よもやま話——ドクターのぞみと2人のナース：小笠原望・松本嘉代・本條キヨ子，8，774.

再び外来へ——看護の継続性を支えるもの

再び外来へ——患者を生活の視点で捉えるというもの……：河口てる子，9，859.

施設内継続看護を考える——24時間持続輸液中の患者との関わり：内田由美子・森本幸子・若林みゑ子・飯田裕子，9，866.

セルフケア病棟と一般病棟，外来，地域とのコミュニケーション：村川恵子・三品君枝・山本厚子・山本美恵子・根本ふみ・葭田美知子，9，870.

入院から退院・通院治療への橋わたしと看護の役割：木藤京子，9，877.

精神科における看護の継続性を考える——中間施設の立場から：森千鶴，9，883.

思春期の看護を求めて

思春期の心を考えた看護を：馬場謙一，10，963.

思春期の看護確立の必要性を考える：梶山祥子，10，967.

CAPDトラブルで不穏状態に陥った患児とのかかわり：錦沢百合子，10，971.

思春期を迎えた急性リンパ性白血病児のこころの動き：橋本裕子・伊豫朝子，10，975.

思春期の看護は病棟・学校・家庭の連携を通して：林利恵子，10，980.

「思春期の看護」教育に関する児童精神医学の立場からの提言：中根允文，10，984.

ターミナルケアを考える

北里大学病院における病棟枠を越えたターミナル・ケース・カンファレンスの試み：北里病院 TCC，11，1067.

ターミナルケアに携わる看護婦と医師のストレス：小島操子・小松浩子，11，1077.

ターミナル期にある患者家族の心理とその援助を考える：斎藤さえ子，11，1084.

最終末期に病棟看護婦が気をつけなければならないこと——虎の門病院看護婦・澤井映美さんに聞く：内布敦子，11，1091.

最終末期に訪問看護婦が気をつけなければならないこと：新津ふみ子，11，1097.

ターミナルケア——地域での取り組みを中心に地域の歴史や文化とともにあるターミナルケアを目指して：細井恵美子，12，1171.

在宅での看とりを振り返って：村松静子，12，1178.
いきいきポックリ在宅死——Mさんの最後のお友達として：大熊正喜，12，1184.

日本と米国におけるターミナルケアの違い——医療倫理と在宅ケアを中心に：新田静江，12，1193.

在宅ターミナルケアの経済的・質的側面を考える——白十字診療所所長・佐藤智氏に聞く，12，1198

特別論考・特別記事

北里大学病院における看護方式の検討——チームナースの見直しを通して：石井か代・渡辺加代子・佐藤時子，3，259.

ナイチンゲールの人物像とその思想：丸岡隆二，3，268.

Y看護婦への手紙——カンボジアと日本の医療をつなぐ点と線(前編)：柳原和子，4，365.

健康観の変遷と現代における健康：丸岡隆二，4，370.

痴呆性老人のケアのポイント：松元寛仁，4，380.

Y看護婦への手紙——カンボジアと日本の医療をつなぐ点と線(後編)：柳原和子，5，482.

看護の理念・概念を考える——大阪大学名誉教授・文学博士・医学博士 澤瀉久敬氏の講演より：丸岡隆二，6，584.

眼科手術は外来で——米国医療技術研修体験記：吉越光代，8，782.

大いなる助走——アメリカ看護留学に向かって：北野敬子，8，787.

デンマークで見たこと，考えたこと：安井禮子，10，988.

[特別対談]ケアに生かす病態生理の理解——『症状の起こるメカニズム』連載開始を前に：橋本信也・西山悦子，12，1203.

ベッドサイドの看護

心身症患児の看護を考える——神経性食欲不振症児を通して：池田侑子，1，58.

長期にわたって多彩な症状を呈した患者の看護：内貴逸子，2，171.

植物状態だったHさんへの感情反応を手がかりとした看護・1——Hさんが氷片を飲みこめた！：上野タケ子・原口千代子・福留テル・堀川ミツエ，6，588.

植物状態だったHさんへの感情反応を手がかりとした看護・2——相性のよい看護婦との交流：上野タケ子・原口千代子・福留テル・堀川ミツエ・都留伸子，7，692.

植物状態だったHさんへの感情反応を手がかりとした看護・3——退院も夢ではない：上野タケ子・原口千代子・福留テル・堀川ミツエ・都留伸子，8，795.
退院指導における患者家族とのコミュニケーション——排尿障害をもつ患者の導尿指導を試みて：西門美喜子・岡崎美保・工藤豊美，9，889.

学生の広場

食事・運動療法の指導におけるパンフレット作成の工夫：安積美喜，1，62.
全盲患者の目の代わりを務めて——入院生活への順応のための援助：清水ひかり，1，67.
学びのプロセスで変容した看護する私の手：石上初美，2，168.
術後不安の強い患者の看護を通して：石川慶子，2，183.
CAPD管理法習慣に向けての援助：吉田めぐみ，3，283.
「生と死」における看護の役割——私の看護観：小林智香，3，287.

研究と報告

アルツハイマー型老年痴呆患者への食事援助における試み——その摂取および消費カロリーについて：藤原伸恵・桑田由起子・大島道子・張谷秀子，1，73.
シスプラチン投与症例における遅延型嘔気・嘔吐の頻度とそれを左右する因子の分析：岡田久江・沢村のり子・井上征子，1，76.
高度の視力障害を有する外来患者の介護について：青山明子，2，177.
慢性関節リウマチに対する基礎療法としての患者指導の試みとその効果：鈴木かほる・久保田智子・磯村房子・永井美保・白滝律子・橋本明・井上哲文，3，277.
水俣協立病院における在宅ケア——13年間の訪問看護実践より：上野恵子・井本美恵，7，686.
腹臥位安静時における顔面固定器具の考案：床井雪江，9，893.
「EOガス滅菌」とその残留ガスに関する研究：広田智子・森藤千鳥・山田千秋・藤木真弓・田口美紀子・市原由美子・中谷明子，9，898.
バイアメで口唇訓練ができた!!——重心兎にアメ訓練を実施して：伊藤たつ子・村山千賀子・金井基子・中村東美子・藤牧栄子・山田悦子，10，996.
Microsurgeryにおける眼科手術助手の教育と訓練：高山友子・菊池景子，10，1000.
ターミナル時における外泊の有効性：黒田晶子・久原曉子・面田治子・藺智子・植林みどり・三笠桂一・堅田均・古西満・前田光一・福岡和也・佐々木義明・成田亘啓，12，1203.

COLOR ATLAS——微候から理解する

脳のしくみと働き：馬場元毅

運動麻痺[4]——障害部位ごとにみた運動麻痺のタイプと特徴・2——脳幹部での障害，1，4.
運動麻痺[5]——脊髄の運動神経のしくみと働き，2，108.
運動麻痺[6]——脊髄とその末梢部での障害，3，212.
知覚障害[1]——知覚とは，知覚の概念，4，316.
知覚障害[2]——知覚のしくみ，5，420.
知覚障害[3]——知覚障害の発生部位と障害のメカニズム，6，524.
脳神経障害[1]——嗅覚脱失，視野狭窄，7，628.
脳神経障害[2]——眼球運動異常，8，732.
脳神経障害[3]——眼球運動異常・2，9，836.
脳神経障害[4]——三叉神経痛と顔面神経麻痺，10，940.
脳神経障害[5]——難聴とめまい，11，1044.
脳神経障害[6]——球麻痺，特に嚥下障害のメカニズム，12，1148.

在宅看護への道：村松静子・守田美奈子・

松沼瑠美子・山田京子・仲野佳代子

家族とのかかわり——難しい公私の区別，1，10.
緊急時の対応——電話での指示は慎重に，2，114.
家族の健康管理，3，218.
開業への迷い，4，332.
看護婦の商法(?)事始め，5，426.
法の厚い壁，6，530.
追い風——マスコミの後押しを得て，7，634.
「買っていただく」看護とは——テルさんの介護事例から学ぶ，8，738.
24時間のON CALL体制，9，842.
介護ヘルパー教育にチャレンジ，10，946.
ついて回るおカネの問題，11，1050.
「在宅の時代」に向けて——福祉士職の出現に私たち看護婦は，12，1154.

NURSING THEORY——

看護理論ってなあに?

『人間対人間の看護』を読む[1]——『人間対人間の看護』との出会い：長谷川浩，1，14.
『人間対人間の看護』を読む[2]——日本語第1版が原書第2版になったわけ：長谷川浩，2，118.
『人間対人間の看護』を読む[3]——トラベルビーの思想的背景：藤枝知子，3，222.
『人間対人間の看護』を読む[4]——看護実践の専門家としての資格とは?：長谷川浩，4，330.
『人間対人間の看護』を読む[5]——トラベルビーからの学び：藤枝知子，5，430.
『看護覚え書』を読む[1]——いのちと健康の理論：丸岡隆二，6，534.

『看護覚え書』を読む[2]——健康のための条件を整える：丸岡隆二，7，638.
『看護覚え書』を読む[3]——患者とその環境への配慮：丸岡隆二，8，742.
『看護覚え書』を読む[4]——信頼される看護婦として：丸岡隆二，9，846.
『看護覚え書』を読む[5]——看護の核心と看護婦のありかた，10，950.
『看護覚え書』を読む[6]——現代に通じるナイチンゲールの思想：丸岡隆二，11，1054.
『オレム看護理論(第2版)』を読む[1]——だれでもセルフケアに携わる能力がある：小野寺杜紀，12，1158.

ワットさんのパーシェントロジ—— 今，患者が主役の時代：ワット隆子

継続は力なり，4，388.
伝統的偏見，5，490.
Positive Thinking，6，594.
絶望の大きさは意志の大きさ，7，700.
初めに行為ありき，8，802.
信念，決断，パーソナリティ，9，904.
明るく楽しく美しく，10，1010.
立つ鳥あとを濁さず：11，1114.
石の上にも10年：12，1218.

水引き草の詩——ある看護教師の闘病記：藤原宰江

苦痛と不安の日々，4，392.
プロの目，5，494.
まな板の上の鯉，6，598.
術後四景，7，704.
貴重な記録，8，806.
岐路に立つ，9，908.
患者が耐えねばならぬもの——羞恥心とのたたかい，10，1014.
患者が耐えねばならぬもの[2]——療養に伴うトラブル：11，1118.
花と病人，12，1222.

ナースのための情報学ABC：辻和男

情報学ってなんだろう!？，4，398.
看護と情報学，5，500.
情報の整理とは[1]，6，604.
情報の整理とは[2]，7，708.
看護過程と看護情報学，8，812.
看護情報学から見た看護過程，9，916.
看護判断学とは!？，10，1020.
判断手法[1]——診断過程，11，1122.
判断手法[2]——診断用検査，12，1226.

高齢化社会の福祉と医療を考える：木下康仁

「生活」モデルとケア・プラン[2]，1，84.
老人ケアの“しんどさ”を分析すれば，2，194.

アイデンティティ・トリックという概念，3，298.
ケアの基本的意味を考える，4，402.
エリクソンに学ぶケアの意味[1]，5，504.
エリクソンに学ぶケアの意味[2]，6，608.
職業としての老人ケア[1]，7，712.
職業としての老人ケア[2]，8，816.
嫁姑関係を文化人類学から考える[1]，9，920.
嫁姑関係を文化人類学から考える[2]，10，1024.
老婆心と“世話焼きばっば”，11，1126.
老いと夫婦[1]，12，1230.

西村かおるの訪問看護留学記[英国編]：西村かおる

国際失禁学会見聞録，1，96.
日本のナースを外から見れば，2，200.
英国衣料事情，3，304.
英国の食物，4，410.
ドキュメント：ロンドン救急現場(?)レポート，5，512.
日本一時帰国物語(前編)，6，616.
日本一時帰国物語(後編)，7，720.
史上初のストに揺れる英国看護界(前編)，8，824.
クンちゃんの死に思う，9，928.
史上初のストに揺れる英国看護界(後編)，10，1032.
私が見た英国のターミナルケア，11，1134.
英国から南米コロンビアへバトンタッチ——藤原さんへの手紙，12，1238.

医の中の想い——

ドクター“のぞみ”の院内日誌：小笠原望

若葉マークの頃，1，82.
だけどいい人，2，186.
学生への一通の手紙，3，290.
病院の外の白衣，4，408.
4年半のレスピレーター[前編]，5，510.
4年半のレスピレーター[後編]，6，614.
パニックだあ！，7，718.
私の川柳ノートから，8，822.
婦長さんの天眼鏡，9，926.
私も荒れる時がある！，10，1030.
それぞれの別離(わかれ)，11，1132.
「想い」の原点，津軽にて，12，1236.

いたいものつらいのとんでいけ——

みつこさんの闘病絵日記：ふくしまみつこ

ガ〜への巻，4，406.
海底の恐怖の巻，5，508.
生きジゴクだあ〜の巻，6，612.
不思議な使命感の巻，7，716.
甘えてなんかいられないの巻，8，820.
おかあさんの手の巻，9，924.
心の叫びを受けとめての巻，10，1028.
言葉の刃に気をつけての巻，11，1130.
元気になる薬の巻，12，1234.

PRISM

先達はあらまほしき事なり——先輩に学ぶ報恩感謝の心：入間川清子，1，25.
老人看護学の確立を：佐藤和子，2，129.
ナースとストレス：吉永瑞枝，3，233.
私の気づき：葛洋子，4，337.
私の「おしゃれ」考：丸田スギエ，5，441.
病院規則の運用に思うこと：粟屋典子，6，545.
医療・看護界に望むこと：滝沢武久，7，649.
それは医者が決めることです：永井明，8，753.
鹿児島弁特訓中：園山双葉，11，1065.
なぜ、いまターミナルケアなのか：菊地本子，12，1169.

TOPICS, HOT LINE

診療報酬改定で看護料はどう変わったか：佐々木正子，6，582.
会費値上げ案僅差で可決——昭和63年度日本看護協会通常総会開かれる，8，790.
保健婦，助産婦，看護婦国家試験改正，8，791.
もしあなたの先輩が無資格者だったら——コメント／資格制度の重要性について：加藤良夫，11，1104.
もしあなたの先輩が無資格者だったら——コメント／制度ではなく現実に“倫理だて”を：三好春樹，11，1105.
失禁看護の夜明けに向けて——西村さん，私も失禁アドバイザーを目指しています：内藤由美，12，1213.

グラフ

緩和ケア病棟(PCU)でがん患者の終末期看護に取り組む——国立療養所松戸病院での新しい試み，1，16.
「おいしく」食べるためのシステム・アップ——聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院の給食体制，2，120.
イキイキ青春！ハワイ研修旅行——13回目を迎えた亀田看護専門学校の海外研修，3，224.
共存の思想をカタチに込める——ハンディを持つ人とかかわりつづける工業デザイナー・光野有次さんの世界，4，322.
作業訓練と就職の一本化！——精神薄弱者通所授産施設「あかね園」と株式会社「ダックス」にみられる新しい関係，5，432.
自立の準備は院内で——上都賀総合病院セルフケア病棟の看護，6，536.
開かれた病院での積極的なボランティア活動——京都南病院「南ボランティアズ」の一日，7，640.
「あたたかさ」四半世紀！——「今求められている」病院を先取りしてきた姫路聖マリア病院，8，744.
あなたが主役のフェスティバル——秋田県厚生連平鹿総合病院看護専門学校の五月祭，8，748.
中堅保健医療者の育成を通してアジアとの交流を深め

る——「アジア保健研修所」の“自立のための分かちあい”，9，848.
婦人記者が見たアンデルセンの国の高齢者福祉・医療：安井禮子，10，952.
確かなチームワークに護られて——東京労災病院4 脳神経外科病棟の看護，11，1056.
医療新世紀に向けて——日鋼記念病院が取り組む様々なシステム，12，1160.
七栗バーデンバーデン計画とは何か!?——広大なヘルス・リゾート構想の魁，藤田学園保健衛生大学七栗サナトリウム，12，1164.

SCOPE

気にかかる訪問看護のゆくえ——「訪問看護の評価」をテーマに第11回全国ホームケア研究会開かれる，1，22.
ワット隆子さんエイボン教育賞を受賞，1，23.
病床環境未来型!?——'87病院設備・機器展のテーマ展示，2，126.
日本看護協会青森県支部創立40周年記念式典開かれる，2，126.
トーベン・ニールセン氏が医学書院で講演——デンマークの高齢者福祉・医療を紹介，3，230.
奄美の島のヨーイドン——県立大島病院恒例秋の大運動会，4，326.
原点に立ち，かつ現代的に——第10回POS研究会開催／リンダ・カワモトさんを囲んで——第3回交流会の集い／東京民医連第19回研究集会開かれる，5，438.
「難病」がナンだ！——七里病院で働く2人の看護婦さん，6，542.
第2回「セルフ・ヘルプ・グループ」セミナー開かれる，7，646.
聖路加看護大学に博士課程が誕生，7，647.
“脱病院化”への可能性を探る——「地域ケア福祉センター池田会館」が，東京・高田馬場に誕生，9，854.
楽しいりハビリを目指して「E.T.学会」が発足，9，855.
やっと誕生した「当り前の店」——初めての福祉のデパート《ハンディ・コープ》，10，958.
苦しく楽しい宿題は真剣勝負の♪ドレミファソ——白井喜代子さんが主宰するお年寄りのためのピアノ教室，11，1062.

WORD SCAN

DSA(デジタル・サブトラクション・アンギオグラフィ)：八代直文，1，24.
ナロキソン：花岡一雄，2，128.
サイトカイン：徳永徹，3，232.
弟原病：山口剛，4，336.
中耳移植：湊川徹，5，440.
高線維食：中村治雄，6，544.
エイズパニック・シンドローム：熊倉徹雄，7，648.

健康運動指導士：小田清一，8，752。
手術顕微鏡立体テレビ装置：黒木秀尚・堀田恵司・生田義和，9，856。
白衣高血圧症：島田和幸，10，960。
METAMEDICA(メタメディカ)：吉田忠，11，1064。
医療情報学：開原成允，12，1168。

PROFILE

<高間静子>北陸看護学会会長として活躍「人生とのよい別れができるように援助したい」，1，81。
<河尻光子>緩和ケア病棟(PCU)を担当 国療松戸病院副看護部長「日本人に合った終末期ケアの実現を目指しています」，2，189。
<則岡ツギ子>16歳からこの道一筋，奄美大島の看護婦さん「患者さんの目となり手となり足となろう」，3，297。
<萩生田千津子>生きる勇気を配達(!?)する車椅子の女優「自然な人間関係を世の中につくっていききたい」，4，379。
<柴田麻子>精神薄弱者通所授産施設『あかねの園』の施設長「親離れを期待するならまず親が子離れしなくちゃ」，5，489。
<水上學>全身性エリテマトーデスを抱えながら夜勤専門で働く「浪費してしまった労力と時間を精算中です」，6，603。
<猪鼻幸子>京都南病院で活躍する病院ボランティア「教えられることの多い，素晴らしい仕事です」，7，699。
<舞原節子>シスターでありナースでもある姫路聖マリア病院院長「病院は病む人が24時間過ごす所です。ホテルよりも快適でなくては」，8，794。
<加瀬裕子>武蔵野市福祉公社から社会福祉士の養成に乞われて参加「自分の失敗を躊躇せず伝えていきたい」，9，915。
<山本良夫>短期ケアつきアパート「ゆきわりそう」の事務局長——「たった一度の人生だから，精一杯楽しくやってみよう」，10，1019。
<白井喜代子>「シルバー音楽教室」を開いているピアノ教師——「ピアノをとおして，お年寄りと人間的なふれあいをしたくて」，11，1113。
<ファビオラ・クエルボ>南米コロンビアから来日中の公衆衛生看護婦——「両親は医学をと言ったけど，私は看護がしたかった」，12，1242。

BOOK REVIEW

看護にいかすカウンセリング——臨床に役立つさまざまなアプローチ(白井幸子著)：松山洋子，1，88。
社会で共に生きる方法を求めて(全国精神障害者家族会連合会編)：小林政子，1，89。
新刊紹介／「吾亦紅(われもこう)」生と死の演出——先端医療の衝撃「在宅看護の技と心——ベテラン訪問看護婦のノウハウ」，1，90。
医療・性・生命(品川信良著)：鈴木美恵子，2，190。

新刊紹介／「生の歌——透析室から」がんの痛みからの解放「在宅老人への訪問看護——アセスメントから実施・評価まで」，2，191。

2001年の医療(水野肇著)：山内京子，3，292。

新刊紹介／「シリーズ現代の病」新人ナース・ピカちゃん——こころの看護「かんばんさんて，すてきな」，3，293。

精神障害者の医療と人権(秋元波留夫著)：藤本幸三，5，498。

新刊紹介／「基本から学ぶ看護過程と看護診断」ルボ老人病棟「1，2，3歳のしつけと健康」，5，499。

私は生きたい！(ジル・アイアランド著，渡辺文子訳)：八木彩子，6，602。

ばくが医者をやめた理由(永井明著)：箕輪良行，8，810。
看護臨床指導のダイナミックス(西元勝子・杉野元子著)：阿部寿満子，8，811。

カードで覚える不整脈(高階経和著)：中村美和子，9，912。

ナースのための薬剤ハンドブック<第2版>(日野原重明監修，西崎統・石村孝夫編)：高橋章子，9，913。

新刊紹介／「スウェーデンのハンディキャプト」「脳からオチンチンまで」「女たちのミナマタ」，9，914。

調査研究の考え方，進め方(林謙治，西田茂樹著)：大木幸子，10，1006。

在宅ケアのアプローチ(谷口政春・石井松代編)：関根正子，10，1007。

名くはし島の詩(喜田清著)：大森美津子，10，1008。
患者・家族会のつくり方と進め方(カレン・ヒル原著，外口玉子監修，岩田泰夫・岡知史訳)：藤原秀，11，1108。

ナーシングスタンダード(E.J.Mason 著，井部俊子・松岡恵監訳，聖路加国際看護手順委員会)：長谷川美津子，11，1109。

新刊紹介／「血液の話」「現代の感染症」「障害者は，いま」，11，1110。

「死のアウェアネス理論」と看護(B.グレイザー，A.ストラウス著，木下康仁訳)：川島ひとり，12，1244。

アルコール・ケア(世良守行編)：埴生日出雄，12，1245。

言いたいフォーラム

発表の苦手な看護婦：大野福子，1，100。

教員は万能ではない：青木令子，1，100。

もっとストロークを！：高野和子，1，102。

「応援しているよ」：野村光子，1，102。

看護婦の Burn out：吉永瑞枝，2，204。

“二人三脚の闘病記”を読み終えて：原野アツ子，2，204。

言葉の凶器：池知智津子，2，205。

突然のできごと：山内京子，2，206。

家庭のパートナーシップを求めて：大沼礼子，3，308。

ワットさんのお話とIさんの思い出：野村光子，3，308。

初心忘るべからず：白石幹子，3，310。

ある日系人の死：吉田冬子，4，414.
 看護に思いを馳せながら：岡本行子，5，516.
 癪と共に生きる祖母の笑み：大屋美穂子，5，516.
 看護者は患者の人格を大切に：小川紀子，5，518.
 基準看護って何なんだ：竹中久美子，5，518.
 1月号雑感(その1)：村上美智子，6，620.
 1月号雑感(その2)：前紀代子，6，620.
 愛ということ：鈴木ルリ子，6，621.
 「看護婦」として働きたい：松村康子，6，622.
 夫を亡くして生じた看護婦への嫉妬：寺戸恵子，6，622.
 ああ無情……：高松香，6，623.
 おいしく食べてもらうには：藤岡智子，7，724.
 なかなか対等の関係にナンカなれない：山内京子，7，724.
 ナースによって食事は変わる：柳本直美，7，726.
 思えば遠くに来たもんだ：鈴木保，8，828.
 痛みからの解放：松尾博美，8，828.
 看護婦は書かねばならない：有田久子，8，829.
 看護研究について考えること：奥田尚美，8，830.
 患者さんの訴え：岩手けい子，9，932.
 去っていったN看護士：濱上末男，9，932.
 痴呆患者さんに紙芝居を：池知智津子，9，932.
 カウンセリングマインド，ケアマインド：松田美保子，9，935.
 親子の縁を大切に：斉藤悦子，10，1036.
 脳死と生命倫理：山内京子，10，1036.
 海外記事はじっくり読もう：奥田尚美，10，1037.
 強くいだいた不信感：俣野節，10，1038.
 おしゃれ新時代：有田久子，10，1039.
 わかり合おうとする心：山北美子，11，1140.
 患者側の主張をもっと考慮して：内山早苗，11，1141.
 仕事の再認識をしました：加地美香，11，1141.
 看護婦さんに応援の言葉を：宮下豊，11，1142.
 産休中に考えたこと：寺戸恵子，11，1143.
 また外来で働きたいと思いました：牧野公恵，12，1246.
 外来を考え直す特集：徳竹秀子，12，1246.

半分きいて！：安永正枝

冬の深夜出勤，1，101.

世間の評価はこんなもん？，2，205.
 おばちゃん患者，夜中の品定め，3，309.
 「送る言葉」をぶつけられ…，4，415.
 ナース殺し，外来の恐怖，5，517.
 「ドン腹」抱えて働く日々，6，621.
 障害のある子を出産して，7，725.
 電話にドキリ！子供の病氣，8，829.
 「エライ先生」たちの群れ，9，933.
 眠い眠いO部長，10，1039.
 死についての思い，11，1143.
 夫のこと，娘のこと，きいてほしいこといっぱい！，12，1247.

われらカンゴ族

夫・桑名行雄さん，妻・佳代子さん，1，1.
 母・花田多喜江さん，娘・田島紀美子さん，2，105.
 母・神谷ツル子さん，長女・良子さん，次女・理枝子さん，3，209.
 姑・池田晶子さん，嫁・富三香さん，4，313.
 夫・中川章さん，妻・ます子さん，長女・真紀さん，5，417.
 長女・宮原久美さん，2女・中島厚枝さん，3女・宮原清子さん，4女・宮原美弥子さん，6，521.
 母・矢沢敏子さん，長女・隆子さん，次女・敬子さん，7，625.
 母・佐々木ナミさん，長女・三橋エミさん，次女佐々木祥子さん，8，729.
 母・鴨井牧子さん，娘・君和さん，9，833.
 祖母・柴崎悦子さん，母・布施美智子さん，娘・由美子さん，10，937.
 姉・菅野洋子さん，妹・朋子さん，姉・渋谷礼子さん，妹・鈴木美名子さん，姉・小西美喜子さん，妹・山中純子さん，11，1041.
 長女・一木泰子さん，次女・あずきさん，3女・千夏さん，12，1145.

おしゃれりワークショップ

みんなで作った点滴児用病衣：長野県昭和伊南総合病院3階東病棟，1，94.
 どうにかしたい，申し送り！：兵庫県公立社病院看護部，3，294.
 臨床指導者はつらいよ：兵庫県明和病院，7，727.

別冊 看護学雑誌 JJNスペシャル No.9

医学書院

症状別 看護アセスメント 情報収集のポイント

安部喬樹・福島梅野 編集

看護過程に基づくケアを，もっと充実させたい。そんなナースの声に
 応えて，JJNスペシャルNo.9は症状別にアセスメントにアプローチ。
 ケアをスタート，そこで，まず注目するのは患者の「症状」，それを正
 しく把握するために，各症状の特性，検査方法，治療方針を項目ごと
 に箇条書き，右ページはイラストや図表で要点をまとめました。

●AB判・2色刷・144ページ・定価¥1,500